

いばらき建設技術研究会 第3回運営委員会議事録

平成16年10月27日 午後3時～ 於:(財)茨城県建設技術管理センター新館 2階会議室

(議 題) 1. 地盤工学会主催、地質調査業協会・いばらき建設技術研究会
共催「最新技術講習会」の参加追加募集について

2. 現場見学会煮の候補地について
3. 「建設新技術交流フェア」開催について
4. 橋梁点検分科会報告について
5. 運営委員連絡用メールについて
6. その他

(配付資料) 資料1:「最新技術講演会」のご案内
資料2:「建設新技術交流フェア」について
資料3:「橋梁点検分科会班の進め方」
資料4:「運営委員メールアドレス一覧表」
資料5:「国交省・出前講座」

(会議録)

議題1について、

10月29日(金)開催の「最新技術講習会」の申込期限の10月20日現在で、120名簿集のところ、97名と少し少ないので各グループで追加で参加をお願いしたい。

議題2について、

前回の運営委員会で推薦のあった北茨城市の「満水状態の小山ダム見学」については、湛水が現在始まったばかりで、満水の予定は、来年平成17年の6月頃となる予定のため、今年の見学場所からはずすことにしたい。

新たな候補地の検討として「導水トンネル」、「フロンティア笠間」などを対象に事務局で検討することになった。あまり遅い時期とならないように願いたいとの意見有り。

議題3について、

前回、開催予定日を12月10日(金)、11日(土)で、開催場所を旧県庁舎の「茨城大学インフォメーションセンター」としていたが、同時期は、部屋の改修工事と重なることと、準備期間に余裕を必要とすることから、平成17年の4月頃と予定して再度仕切り直しすることとし、各グループに対し、至急参加募集案内を作成して参加を募ることとした。

目 的: いばらき建設技術研究会会員(グループ、個人企業、個人)の最近の技術を公開して情報交換の場を提供する。(技術、製品、システム、研究成果等)
・同会員の成果等について非会員や一般市民に周知する。

方 法: 会場にブースを設置し、ポスターや成果品について展示。

応募数: 約20件程度

詳細は、募集案内にて別途通知するが、国や公団、県等のバックアップが得られるよう必要な要請を行って欲しいとの要請有り。

議題4について、

現在、10月末日締め切りで各グループに勧誘を行っており、決定次第「橋梁点検分科会班名簿」作成し、各メンバーに送付する。(茨城大学、建設コンサルタントグループ、鋼橋グループ、PCグループ、建設グループ、自治体グループなど約35名ほどのエントリーがある。)

11月中旬を目途に第1回会議を開催し、点検補修の取り組み方等について討論を進めることとする。

目的: 茨城県では、多くの道路ストックを抱える中、限られた財源と限られた人的資源の制約の下で、既存の社会基盤である道路施設の機能が確保されるよう管理しなければならない立場にある。

このような実態に即し、今後橋梁などの構造物の管理手法について「いばらき建設技術研究会」が産・官・学の立場から取り組むことは、非常に意義のあることであり、県内の橋梁の実態把握、鋼及びコンクリート橋における点検、管理手法の検討ならびに提案、人的・財政的手当の困難な状況の解決方策、具体的な補修方策について新たに分科会を発足し、検討を進める。

議題5について、

運営委員会の開催通知については、事務局から各グループの代表にメール又はファックスで通知して参加を募っているが、50数名いる運営委員(総務班員、事業班員、広報班員、分科会班員の全員)に直接メールで案内通知をし、会議の結果については、議事録等を直接メールで送付したい。

そのため、現在各運営委員の連絡メールを調査しているが、まだ事務局に連絡のない人がいるため、至急調べること。

議題6について、

次回の第4回運営委員会の開催日程を、11月24日(水)16:00から(財)茨城県建設技術管理センター新館2階会議室で行う(12月の運営委員会は、運営委員の繁忙が予想されるため開催しないこととする。)ものとし、終了後、別途会場で平成16年の反省会を行うこととする。

別途運営委員会開催と反省会の案内を各運営委員に送付する。